



1970年6月30日 第102号
発行 新潟県巻町役場
電話 代表 (0) 3131
編集 商工観光課
印刷所 北洋印刷株式会社
住民基本台帳人口 (昭和45年5月31日現在)
総人口 27,404人
男 13,281人 女 14,123人
世帯数 6,069

7月1日から ごみ収集車 4トン車 を増車 広がる収集区域

家庭から出るごみの量によって、その町の文化水準がわかるというほど生活に密着したごみ、それだけにごみ処理は町にとってたいじなことのひとつです。
町では7月1日からごみ収集車四トン車を増車し、町民のみならず要望の強い収集区域の設備的拡大にこたえることになりました。現時点で全地区をいっきに三回のごみ収集に切り替えるには、収集車の増車、施設の増設など町財政上や清掃人員の確保など幾多のむずかしい点があり、なかなか困難です。しかし町は今後も前向きで理想的な清掃事業の実現に努力したいと思っておりますので、町民のみならずご理解をたまわりたいと思っております。

新たに三十部落 収集へ

ごみ収集車の購入で七月一日から次の部落が新たに収集区域に入りました。ごみ収集区域は中郷屋、安尻、下和納、福井、仁箇、舟戸、鷺の木、竹野町、仁箇、布目、松野尾、松山、新月。

大原、馬堀、栄町、並岡部、田沢は月曜、水曜、金曜、土曜。河井、また、危、浦原は火曜、木曜、土曜。除物収集区域は伏部、前田、割前、松野尾、平沢、上木島、下木島、神島、山崎、並岡部の根、東汰上、羽田。

七、八月の海水浴期間中、海水浴場のごみ収集を週三回に分けて行なう予定です。越前浜、角が、これを廃止、さらに併

収集日の朝、集積場所へ

ごみはポリ袋に入れて、



犬の放し飼いや水まきらう機却

これから夏に向い、スイカ、メロン、枝豆など水分の多い果物が出回るころになり、ごみ処理場の焼却炉に非常な負担がかかる。焼却炉の破損を招くことにもなりかねません。家庭でごみを出される時には、水分の多いものをとりだして、水につけてから容器に入れてください。

ごみ収集日程表

収集区分	収集曜日	収集区域
ごみ収集週3回	月 水 金	本町通、駅通、四谷通以南全部、宮小路、西中通、東中通、中通、東6区、仲江通、東仲江通、欽道沿え(駅通~高校通)葉萱場、中郷屋
ごみ収集週3回	火 木 土	高校通、東浦通、西浦通、赤さび、3区全部、羽山団地、財務事務所通、専福寺脇小路、西川東奥防~割前線(13区)、安尻、下和納
ごみ収集週2回	月 木	福井、峰岡、舟戸、鷺ノ木、天神町、竹野町、仁箇、布目、松野尾、松山、新月、大原
ごみ収集週2回	火 金	漆山、馬堀、栄町、並木、河井
危険物収集週1回	水	角田地区全部、稲島、伏部、前田、割前、鶴頭、桜林、東町
危険物収集月2回	毎月第1、第3	水 松郷屋、平沢、上木島、下木島
危険物収集月2回	毎月第2、第4	水 柿島、山島、根岡、東汰上、羽田

たばこは町で買おう

町内で買われたたばこ一箱(二十本)につき十三円八角(二十円)の消費税として十七銭がたばこ消費税として生じること十分考えられたいと思っております。町の美観をそそぐようばかりでな環まます。

三歳児母親学級

今日の母親学級は七月二十六日午後一時三十分から巻町公民館で開かれます。テーマは「三歳児の心理と行動」。講師は新潟県精神衛生センター久保先生です。

7月の納税

固定資産税	2期
国民健康保険税	2期
納期限	7月31日

納税に特段のご協力をねがいます。

ペーローダー(除雪機)購入 道路補修にも一役



(出勤に備えるペーローダー)

町ではこのほどペーローダー(除雪機)のほかに、除雪機一式を四百五十万円で購入しました。現在のペーローダーは、ブルドーザー、ブルドック、道路掘削機、道路舗装機、後の広い道路しか除雪できません。ペーローダーは、道路掘削機、ブルドック、ブルドックのせいで、このように入ることができ、しかも、バケット付きのため、字路付近の排雪などにも活用でき、冬期間の道路確保に備えることになりました。

六月定例議会終わる 一般会 計補正 五千五百万円

昭和四十五年六月定例町議会が六月二十三日、四日の二日間役場議場で開かれました。

議案審議に先立ち、石田亦男、小柳真治、土田保、寺沢太次郎の四議員が一般質問を行ない、町当局の考え方を聞き、引き続き九議案、五報告が提出され、原案どおり可決されました。

なお、このほか二陳情も提出されました。町民の意見も取り入れ、町議会の一部を改正する条例

民謡唄まつり 4日、BSN テレビ放送

六月二十八日巻小中学校で行なわれた老人慰問「全国民謡唄まつり」がBSN(5チャンネル)で放送されます。題名は「唄つて唄つてよるよるまつり」です。

放送時間は七月四日午後四時三十分から五時まで、ぜひごらんください。

峰中、学校林の下刈り 雑木退治に汗流す

六月八日、町立峰中中学校では、全校生徒が参加、三十平方メートル(三千百坪)の学校林の下刈りを行ない、



(学校林の下刈りに力を合わせる女生徒)

雑木、雑草がうっそうと生い茂り、学校林は薄暗い。学校から徒歩で四十分、福井地内の学校林に到着した女生徒は小休息のうち、先生から「たばこ」作業は安全第一の注意を受け、脇に広がる学校林を三年、二年、一年と分担された作業区域に散って行

広さを有し、林相は二十数年生の杉、松六千本、三十数年生の杉五百本、昭和二十三年植樹出身の大島芳一さんが寄贈してくれたものです。

昨年から下刈りを再開してはいますが、しかしその前五、六年休んだため下枝がのび放題。おにぎりをバックつく生徒を見ながら西倉昇校長は「学校林の下刈りは五年一度に加入した青少年赤十字活動の一環として実施したもので、森林愛護と勤労を尊ぶ生徒の育成がねらいです。」と話してくれました。

午後二時作業を終り、早退する生徒は多い。午後の学校林は出先、午後四時全員が揃って帰りました。

